

# 八王子市地元再発見のためのバーチャルお散歩マップ

～ YouTuber 八狗による観光案内 ～

Local Rediscovery Walk Map for Hachioji Citizens

- Tourist Information by YouTuber Hachiinu -

八王子を散歩し隊

木村 倫太郎<sup>1)</sup>, 古林 拓弥<sup>1)</sup>, 三ツ木 千明<sup>1)</sup>

指導教員 永見 豊<sup>2)</sup>

1) 拓殖大学 工学部 デザイン学科 永見研究室

2) 拓殖大学 工学部 デザイン学科

キーワード：観光案内, 地図, QR コード

## 1. はじめに

2020年、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)によって、私たちの生活様式は大きく変化した。国土交通省都市局がまとめた「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」[1]によると、密閉・密集・密接のいわゆる三密を避けるため自宅で過ごす時間が増えることになり、運動不足の解消・ストレス緩和の効果が得られる場として、緑やオープンスペースの重要性を指摘している。今後の方向性として、ウォークアブルな空間とグリーンインフラを組み合わせたネットワークの形成が重要となると提言されている。

八王子市は、都心に通勤するベッドタウンとして約60万人の住民が生活しており、コロナの影響により地元で過ごす時間が増えた住民が多くいると予想される。市では「八王子市ウォーキングマップ」[2]をホームページに掲載し、歴史スポットや散歩コース、所要時間などの情報を発信している。しかし、このマップの認知度について本学の学生48名にアンケートを取ったところ、93%の学生が認知しておらず、あまり普及していないことが分かった(図1)。また、景色や建造物などの画像は充実しているものの行政の発行物のため飲食店のPRは無く、食べ歩きの情報がないことも課題として挙げられた。

認知度向上の成功例としては、茨城県公認

Vtuberの「茨ひより」がある[3]。バーチャルYouTuberを取り入れたことで13万人ものチャンネル登録者を得ている(図2)。また、飲食店の情報掲載については、観光関連団体が運営することで、解決できると考える。

以上から、私たちは、八王子の地元の魅力を体験しながら再発見することを目的とした「お散歩マップ及びバーチャルYouTuber八狗(ハチイヌ)」を提案する。



「八王子ウォーキングマップ」を知っていますか？

はい : 2

はいえ: 46

総数 : 48 (内八王子市在住12名)

図1 八王子ウォーキングマップの認知度



図2 茨城県公認 Vtuber の「茨ひより」[3]

## 2. バーチャル YouTuber

先に紹介した茨城県公認 Vtuber の「茨ひより」は、

2018年に行政初のバーチャル YouTuber として登場し、茨城のイベントや情報を動画で紹介したり、ゲーム実況などの人気ジャンルの動画を投稿することで、現在は YouTube のチャンネル登録者 13 万人、twitter のフォロワー数 2.5 万人と絶大な人気を誇っている。最近話題になった茨城県の魅力度ランキング最下位脱出にも貢献したとされている。

### 3. バーチャルお散歩マップの提案

#### (1)QR コードによる動画へのリンク

私たちが提案する「お散歩マップ」とは、紙媒体と同時に「バーチャル YouTuber 八狗」による八王子市内のお散歩動画と合わせたものとする。

まず、八王子市内の名所をまわるお散歩コースを一つ作成し、八狗は実際にそのお散歩コースを歩きながら、周辺のお店や伝統工芸品などを巡る動画を撮影し、YouTube に投稿する。次に、このコースをもとに「お散歩マップ」を作成し、各お店や観光スポットの近くに QR コードを付け、このマップを駅等で配布する(図 3)。このマップを実際に手に取った人は、このお散歩コースを見ながら気になった場所の QR コードを読み取ると、実際にその場所に行った八狗の動画にたどり着き、どのような場所かを見ることができる。



図 3 バーチャルお散歩マップのイメージ

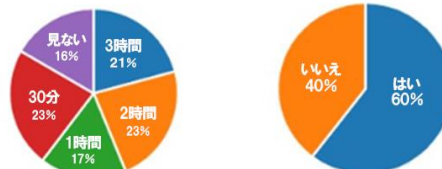
#### (2) YouTube による認知度向上と情報量充実

市が発行する「八王子市ウォーキングマップ」の課題として、認知度と情報量の少なさを指摘した。本学の学生に対して実施した YouTube に関するアンケートの結果(図 4)、学生はインターネットの利用に割く時間が多く、情報収集などもインターネットで行っていることが分かった。若い世代へのアプローチとして YouTube を利用することは効果的といえる。また、駅などで目を引くキャラクターを配置しながら実際の

地図を配布することで、普段はインターネットを利用しない世代でも、このお散歩マップを認知することができると思う。

情報量の低さに対しては、マップにキャラクターを配置したり、お店などの画像に実際の動画のキャプチャを入れる事で、情報量を増やすことができると思う。

1.一日にyoutubeをどれくらい見ますか? 2.youtubeで見た商品について調べたことがありますか?



3時間以上:10	はい :29
2時間以上:11	いいえ:19
1時間以上:8	
30分以上:11	
ほぼみない:8	総数:48
	総数:48

図4 YouTubeに関するアンケート

### 4. おわりに

YouTuber 八狗によるお散歩コースを紹介するコンテンツは、様々なジャンルに展開できる可能性を秘めている。バーチャルお散歩マップの運営は、観光関連の団体が運営することにより、行政の発行とは異なり、お店の情報やセール、イベントなど、営利目的の内容も掲載することができ、より情報量を増やすことができる。ぜひ、観光関連の団体の方に運営の検討をお願いしたい。

現在、YouTuber 八狗を動かしながらお店を紹介する動画を制作中である。当日の発表ではどうぞ期待ください。

### 参考文献

[1]国土交通省都市局：新型コロナ危機を契機としたまちづくり、  
<https://www.mlit.go.jp/toshi/machi/covid-19.html>, 2020.8.  
 [2]八王子市：八王子市ウォーキングマップコース紹介、  
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/0007963/aq003/p002693.html>, 2018.2  
 [3]茨城県：ひよりの部屋、  
<https://www.pref.ibaraki.jp/bugai/koho/koho/pr/characters/hiyorin/ibarahiyori.html>, 2020.6